

新会員管理データベース・プロジェクト
ーオンラインミーティング(1)ー

- 開催日時 : 2022年12月18日(日) 10:00~11:25
■ 参加者 : 竹原、辻、櫻井、迫、宮坂、田中、福里、中田(記録) <順不同・敬称略>

【 議 事 要 旨 】

1. 塾員部による会員管理の現状説明(宮坂)

- 神奈川通信三田会発足当初から、櫻井さんに会員名簿のデータベース作成を引き受けていただき、塾員部もこれを利用させていただいてきた。この間の櫻井さんのご苦勞に深く感謝します。
- 塾員部では、会員の入金情報とともに各種媒体経由での会員情報(住所やアドレスの変更、近況報告等々)を関係者や会員に適宜報告している。
- 3年間未納の場合は退会とするが、通常の退会申し出に対しては会報と振込用紙を送って心変わりを待ち、会員名簿にはそのまま正会員として残している。
- 入会希望に対してはメールでの手続き指導のうえで、封書でもフォローするようにしている。
- 「三田会だより」もこのデータベースを利用しつつ、適宜アドレス変更等に対応している。
- 会員データベースに掲載しているデータ件数は以下の通り。(本日現在)
 - ・正会員 : 289件 (会費納入者)
 - ・一般会員 : 71件 (会費未納だが、入会資格のある塾員)
 - ・国会図書館 : 2件 (会報送付先)
 - ・地域三田会 : 50件 (会報送付先)
- 現在、この会員データベースは会長と塾員部長が保有しているが、データ更新は各自が独自に行っており、数回月に一回自分が作成したマスターを受け渡しして整合性を取っている。
- この会員データには現在はパスワードはかかっていない。

2. 会員データベースの現状説明(櫻井)

- かつて藤沢三田会事務局長だった方の友人(同会の会員ではない)が作ったデータベースを自分が藤沢三田会で利用していたが、それと同じデータベースを神奈川通信三田会の会員データベースの原本として利用している。
- これに塾員部から提供される会員情報データを都度反映させ、その結果を塾員部が利用している。
- 寄付金に関するデータは別のExcelで管理している。また、ゆうちょの会費入金データも別Excelで管理しているものがあり、この会員データとの突き合わせに利用している。
- 会報については、このデータベースからマクロ命令機能を使って必要データを抽出し、外注委託はせずに自宅で封筒に宛名印刷している。A4封筒への印刷にはA3サイズ対応のプリンター(藤沢三田会とKTM用として使用)が必要になる(A4プリンタにはA4封筒が入らない)ほか、写真データを扱う場合はスキャナーも必要になる。
- この会員管理データのExcelはOffice2013迄は対応しているが、それ以降の新しいOfficeは

基本構造が異なるのでそのままでは対応できず、データをコピーして利用するなどの工夫が必要になる。

- 宛名印刷のほか振込用紙への印刷もあり、マクロ命令機能で当年度分の未入金者リストを抽出して住所、氏名や会員コード等を印刷していたが、現在は空白の用紙に振込先名称や口座番号を印刷しているほか、間違い防止のため封筒と振込用紙を20件ずつグループ化してセットになるようにして印刷している。
- 三田会印刷画面の中では、「長形3号」と「A4封筒」及び「振込用紙の縁なし」の3種類のみ使っている。また、「新規入会」、「照会画面」、「一覧」のファイルは使っていない。
- 「正会員」、「一般会員」、「その他」の区分は無く、吉浜前会長扱いの方々のデータも入っている。

3. 質疑応答・意見交換等での確認事項

○新会員管理データベースについて

- ・このExcelデータベースの作成者は藤沢三田会会員ではないとのことなので、神奈川通信三田会でこれを利用することには問題は無い。
- ・このデータベースを引き継ぐとすれば、ソフト的にはかなり高度なレベルが必要なうえ、ハード的にもA3対応プリンターなどが必要になる。
- ・新会員管理データベースとして今後もこのExcelを利用していくなれば、使っていない項目や必要の無い項目を削除し、項目を最小限に絞りつつ分かりやすいものにして、継続的に利用できる形式に改める必要がある。
- ・項目の削除に際して「列」を削除すると、データ抽出の際にマクロ命令と合わなくなって印刷に支障が出るので注意が必要である。
- ・経理部はこのデータベースを使っておらず、入金者の把握のみを塾員部からの提供データに基づいて行っている。

○印刷について

- ・印刷の頻度は次の通り。
 - ①会報一年2回（振込用紙同封）
 - ②年間活動計画の送付一年1回（1月）（振込用紙同封）※全会員対象は①+②の計3回
- ③3月/9月の新卒業生への会報と振込用紙送付（7月と12月） 計2回
- ・来年1年間は櫻井さんに引き続きお願いして内部で印刷するとしても、それ以降をどうするかを検討しなければならない。
- ・内部印刷は難しい点もあるので、宛名印刷をシールに印刷して封筒に貼付する方式を考えてもよいのではないかと。
- ・外注化の可能性もあるので、来年1年かけてコストも考えながら検討する必要がある。外注業者を調べ、一部見積もりも取っているが、振込用紙の印刷に対応する業者は少ない。
- ・従来通り内部で印刷対応を継続する場合は、A3対応プリンターの手当てが必要になる。
- ・櫻井さん所有のA3対応プリンターは、藤沢三田会もあと一年使う予定があり、個人的にも使う予定があるとのことなので必要ならば購入することになる。

4. 本日の結論として

- 会員情報の窓口は塾員部なので、新会員管理データベースは塾員部にて更新等を含めて管理を担当することが望ましい。
- 新会員管理データベース構築と継続的な運用のため、広報部（田中部長）にて塾員部が引き継ぐことができる内容に整理する。（宮坂さんから現行の会員管理データベースを田中さんに提供する）
- 新会員管理データベースはサーバーに保存（バックアップを考慮）したうえで、一元管理できるようにアクセス権を少人数に限定する。
- 次回からは、二重管理やデータの分散を防止するため経理部にも参加してもらおう。
- 広報部（田中部長）にて来年 1 年掛けて会員管理データベースの整理を行うが、次回のミーティングはその進捗状況を見た上で日程を決めて、宮坂さんから参加者に連絡する。
- 今回は、今回採り上げることができなかった「ML」についても検討する。

以上